

令和1年度事業報告

(平成31年4月1日—令和2年3月31日)

公益財団法人東芝国際交流財団の定款に定める設立趣旨に従い、「国際交流・対日理解の促進を図り、国際社会・現地社会に貢献すること」を目的に、令和1年度は、追加事業を含め事業件数93、総事業費156,270千円(前年度比 件数ベースプラス16%、金額ベースプラス1%の事業展開を行った。

助成事業を当財団の定款に定める公募型助成及び自主事業ごとに、地域別にまとめて見ると次の通りである。

＜主要4事業定義＞	公募型助成事業	自主事業
I. 対日理解促進のためのシンポジウム・セミナー等への助成		I. 公開講座の開催
II. 国際社会・現地社会の文化活動への助成		II. 対日理解の促進に関するシンポジウム・セミナーの開催
III. 対日理解の促進に関する調査研究への助成		III. 対日理解の促進を担う人材の養成
IV. 対日理解の促進を担う人材の養成への助成		IV. 国際交流に関する情報収集

公募型助成の分野別・地域別の内訳表

千円(件数)

	米国	欧州	アジア・豪	日本	合計	構成比(%)
I.	1,308 (1)	16,709 (13)	16,370 (10)	6,200 (6)	40,587 (30)	42.3 (36.6)
II.	6,685 (5)	5,624 (4)	0 (0)	5,418 (5)	17,727 (14)	18.5 (17.1)
III.	2,125 (2)	10,929 (11)	1,129 (2)	6,295 (8)	20,477 (23)	21.3 (28.0)
IV.	3,810 (3)	5,225 (4)	4,117 (4)	4,000 (4)	17,151 (15)	17.9 (18.3)
合計	13,928 (11)	38,487 (32)	21,615 (16)	21,913 (23)	95,943 (82)	100 (100)
構成比	14.5 (13.4)	40.1 (39.0)	22.5 (19.5)	22.9 (28.1)	100 (100)	

自主事業の分野別・地域別の内訳表

千円(件数)

	米国	欧州	アジア・豪	日本	合計	構成比(%)
I.	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
II.	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7,986 (1)	7,986 (1)	13.2 (9.1)
III.	5,264 (2)	9,745 (4)	19,614 (3)	0 (0)	34,623 (9)	57.4 (81.8)
IV.	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17,718 (1)	17,718 (1)	29.4 (9.1)
合計	5,264 (2)	9,745 (4)	19,614 (3)	25,704 (2)	60,327 (11)	100 (100)
構成比	8.7 (18.2)	16.2 (36.4)	32.5 (27.2)	42.6 (18.2)	100 (100)	

* 助成先事情により、アジアで4件、日本で1件が中止となり、日本で1件の追加助成を行った。

中止案件 ソウル大学校、ミャンマー経済投資センター、アルファビッド・ガブ国立大学、地域の色実行委員会、
 北京日本学研究中心 計7,432千円

追加案件 目白漆学舎 90千円